



山崎善也会長

世界連邦宣言自治体全国協議会（会長 山崎善也綾部市長）は令和3年度総会を7月12日にオンラインで開催した。会長には、京都府綾部市の山崎善也市長、副会長には東京都武蔵野市の松下玲子市長、石川県金沢市の山野之義市長がそれぞれ再任した。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により書面決議となったが、初めてオンラインで総会を開催した。総会では加盟自治体の首長・議長をはじめ行政関係者ら約40人がオンライン上で顔を合わせた。

冒頭のあいさつで山崎会長は、「世界連邦宣言を行った自治体には、住民の皆さんの熱い賛同を得て宣言を行い、その理念に基づいて活動を継続してきたという自負と責任があります。世界情勢が混沌とし、また新型コロナウイルス“パンデミック”の時代であるからこそ、いま一度その原点を思い出し、世界連邦宣言の意義を再確認するとともに、加盟自治体が一致団結して活動を展開していきたい」と呼び掛けた。

続いて、来賓として世界連邦推進日本協議会より海部俊樹会長の祝辞を野田武志事務局長が、世界連邦日本国委員会より衛藤征士郎会長の祝

辞を谷本真邦事務局次長が代読した。

議事においては事務局より令和2年度の事業・決算報告があったのち、監事を代表し東京都三鷹市の土屋宏副市長より監査報告がなされた。

今年度の事業計画は、「世界の恒久平和の実現はもとより、環境問題や災害・感染症対応など、共通する課題の解決に向け国家の利害を超えて取り組むためにも、新たな秩

**世界連邦宣言**

**いま一つの世界を**

自治体協新聞

発行  
世界連邦宣言自治体全国協議会  
(事務局 = 京都府綾部市)  
〒623-8501 綾部市若竹町8-1  
TEL (0773) 42-4217  
FAX (0773) 42-4905

## 山崎会長が6期目の再任 — オンラインで初の総会 —

2021年5月、イスラエルとパレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム組織ハマスによる武力衝突が勃発。双方の武力衝突が日に日に激しさを増す中、子どもを含む民間人が死傷する事態を受けて、駐日イスラエル大使と駐日パレスチナ常駐総代表部大使あてに停戦を呼び掛ける書簡を送りました。

当協議会は、イスラエル、パレスチナ双方から子どもたちを日本に招いて相互の信頼醸成を目指す「中東和平プロジェクト」を12回にわたり全

## ガザ地区の戦闘停止を 呼びかけ

国で開催してきました。書簡では、「これ以上の犠牲者を出さないために即刻戦闘が停止されることを望んでいます」とし、「一人一人の生命を大切にし、武力によらず、対話による平和的な解決を目指し、それぞれの立場で努力されることを願ってやみません」と訴えました。

すべての議案について、原案通り議決され閉会した。

別表（役員自治体）

役職名	自治体名
会長	綾部市(京都府)
	武蔵野市(東京都)
副会長	金沢市(石川県)
	成田市(千葉県)
理事	青梅市(東京都)
	小金井市(東京都)
	福生市(東京都)
	輪島市(石川県)
	宇治市(京都府)
	兵庫県(兵庫県)
	神戸市(兵庫県)
	岡山市(岡山県)
	広島市(広島県)
	松山市(愛媛県)
監事	新居浜市(愛媛県)
	三鷹市(東京都)
	亀岡市(京都府)

※首長名は省略

**駐日イスラエル大使**  
(駐日パレスチナ常駐総代表部大使)

**ヤッファ・ベンアリ閣下**  
(ワリード・アリ・シヤム閣下)

拝啓 新緑の候 貴職にはますますご清祥のことと拝察いたします。平素から当協議会に格別のご高配をいただき厚くお礼申し上げます。さて、ガザ地区におけるイスラエルとイスラム組織ハマスの武力衝突は日に日に激しさを増し、子どもを含む民間人が死傷するという憂慮すべき事態となっています。私たち世界連邦宣言自治体全国協議会は、イスラエル・パレスチナ双方から子どもたちを日本に招き、相互の信頼醸成を目的とするプロジェクトを2003年に綾部市で初開催して以降、12回にわたり世界の恒久平和実現に向けた草の根運動として全国において展開してまいりました。私たちはこれ以上の犠牲者を出さないために即刻戦闘が停止されることを望んでいます。一人一人の生命を大切に、武力によらず、対話による平和的な解決を目指し、それぞれの立場で努力されることを願ってやみません。なお、これと同じ書簡を駐日パレスチナ常駐総代表部にも送っていることを申し添えます。

2021年5月19日  
世界連邦宣言自治体全国協議会  
会長 綾部市長 山崎 善也

# 世界連邦運動を導いた 「賀川豊彦の活動と世界連邦」

## 京都府綾部市を会場としオンラインでも配信

7月12日、世界連邦宣言自治体全国協議会（会長 山崎善也綾部市長）は「賀川豊彦の活動と世界連邦運動」と題し世界連邦講演会を開催した。約1時間の講演は京都府綾部市を会場として、動画共有サービスYouTubeを通じて、全国にオンラインでも配信された。

賀川氏は、世界連邦建設同盟（現・世界連邦運動協会）の副総裁を務めていた。神戸出身のキリスト教社会運動家



講師：杉浦秀典氏

であり、神戸のスラム街での救貧事業に取り組んでいた。また、生活協同組合や労働組合といった各種の助け合い組織の発展に貢献したほか、戦後は世界連邦運動を提唱、指導した。

今回、講演会場となった綾部市へも幾度か訪れており、1927（昭和2）年の北丹後地震の際には綾部市にある丹陽教会を拠点として救済活動を行ったほか、1949（昭和24）年には世界連邦建設運動の普及のための講演会などを行い、綾部市を世界連邦運動へと導いた。

この日、講師を務めたのは世界連邦運動協会執行理事で賀川豊彦記念松沢資料館（東京都世田谷区）の副館長の杉浦秀典氏。昨年、綾部市の山崎市長が同館を訪れたことが縁となり、今回の講演に結び付いた。

杉浦氏は、賀川氏が第二次

世界大戦中に、訪米平和使節団の一員としてルーズベルト大統領と会見し日本と中国の調停役を依頼したが戦争回避がかなわず、日米が開戦。戦後はその



反省から、賀川氏が中心となって国際平和協会を設立し、それが世界連邦運動へと進展したことを説明した。

また、米国のワシントン大聖堂に彫像が置かれ、これまでにノーベル文学賞、平和賞の候補として計

5回も名前が上がるなど、世界的評価を受けていることを紹介。

賀川氏について「ありとあらゆる人材とネットワークを駆使して運動を推進した」と高く評価した。

検討いただき、世界連邦施策の推進に積極的に取り組まれることを期待しています。

詳しくは事務局までご相談ください。



YouTube 配信

## 世界連邦推進交付金 ご活用ください

当協議会では、加盟自治体等が実施する世界連邦推進事業に対する交付金制度を運用しています。

対象事業は、恒久平和実現のための世界連邦主義を普及し、自治体が連携して世界平和に寄与するという当協議会の目的に沿った事業です。

交付金額は交付対象経費の10分の10以内で限度額は500千円。

事業実施年度の前年12月月末までに世界連邦推進事業交付申請を行う必要があります。

各自自治体におかれまして、この交付金制度の活用を

### 世界連邦推進交付金活用事業の実績

年度	自治体名	事業名
平成24年度	八王子市	世界連邦平和都市宣言35年記念事業 八王子市平和展
平成25年度	京丹後市	中東国際交流プロジェクトin京丹後
平成25年度	青梅市	世界連邦宣言自治体 青梅市親子ヒロシマ派遣事業
平成26年度	羽村市	世界連邦推進 広島平和啓発施設見学会
平成27年度	静岡市	中東平和プロジェクトin静岡
平成27年度	武蔵野市	世界連邦宣言55周年記念 青少年平和交流派遣事業
平成28年度	高野町	中東平和プロジェクトin高野
平成30年度	亀岡市	中東平和プロジェクト2018
令和元年度	綾部市	中東平和プロジェクトin綾部
令和2年度	福知山市	戦後75周年記念事業 人権を考える市民のつどい講演会